



# くまのみずき

茅ヶ崎市立北陽中学校 学校だより

第12号

## 春近し

1月20日の大寒を過ぎ2月に入りました。3日節分です。そして4日は『立春』です。春が立つと書くので旧暦上では春が始まる日になります。節分は、季節の始まりの日（立春、立夏、立秋、立冬）の前日のことで、季節を分けることを意味します。季節の分かれ目には邪気が入りやすいと考えられており、それを払う行事として、豆まきがあります。豆まきの柀によく書かれている「一陽来復」という文字は、冬が終わり春が来ること、また悪いことが続いた後で幸運に向かっていくことを表します。立春を過ぎても体感的にはまだまだ寒い日が続くのですが、最初に吹く強い南寄りの風は「春一番」と呼ばれます。



さて、学校では、年度末を迎えています。3年生は先日公立高校への出願（今年からはWeb出願です）を済ませ、いよいよ受験（受検）

の最終段階に入っていきます。この時期になりますと、3年生のみなさんの心には不安や緊張感が少しずつ大きくなっていくかもしれません。これを乗り越えるためには『平常心』です。いつもと変わらない生活をする事です。いつもと同じリズムで普段通りに試験に臨むことが最も重要になってきます。「早寝、早起き、朝ご飯」はよく聞きますが、『早寝、早起き、朝ご飯、そして学校生活』を付け加えましょう。学校生活をしっかり送ることで、さらに生活リズムを整えていきましょう。『平常心』とは、何事にも動じない心を表していたわけではないようです。緊張も不安も弱さも含めて、ありのままの自分に気づき、受け入れ、自分を知り、自分を素直に受け入れる心を表していたのだそうです。自分を知って素直に受け入れてこそ、自分の力を発揮することができます。自分の力を出し切ってくれることを願っています。北陽中学校からはばたいていくまであとわずかです。

1、2年生はそれぞれ学年のまとめに入ってきました。14日（水）より今年度最後の学年末テストを迎えます。1年間のまとめをしっかり行い、次の新年度へとつなげていってほしいと思います。1、2年生も立派に成長しています。

## 新入生保護者説明会と新入生説明会

1月12日（金）には「新入生保護者説明会」を、本校体育館で行いました。校長からは、スライドによるプレゼンテーションを行いました。18日（木）には生徒会本部役員による小出小・香川小の6年生を対象とした「新入生オリエンテーション」を本校体育館で開催しました。当初は緊張した面持ちで来校した小学6年生たちも、徐々に緊張がほぐれていきました。どちらも4月に本校へ入学を予定している各ご家庭で準備をしていただくものの説明と、新入生の中学校生活に対する不安を少しでも払拭できるようにとの意図で、毎年この時期に実施しているものです。

大きな期待と少しの不安を胸に登校してくる新入生が、先生や先輩とともにたくましく成長していく姿を、中学校3年間で見れることはとてもうれしいことです。現1、2年生は、新入生を先輩としてあたたかく迎え入れ見守り、応援してくれることを期待しています。

3年生の卒業は寂しい限りですが、次のステップへと笑顔で送り出し、4月に迎え入れる新入生とともに始まる学校生活を楽しみにしていきたいと思っています。6年生を前にすると、改めてついこの間まで小学生だった現中学1年生がたいへん立派になっているのを感じました。言葉遣い、態度、どれをとっても小学生とはひと味違う社会性が身につけていることに感心しています。

## 卒業証書授与式について

繰り返しお知らせいたしますが、卒業証書授与式は3月12日（火）です。詳しいご案内は後日配付させていただきます。昨年度までは生徒一人につき2名までとさせていただきますが、保護者の方の入場制限はありません。来賓もお招きします。1年生は当日の朝学活のあと下校で、卒業証書授与式には参加しません。2年生は、参加して、3年生の門出を祝う形にさせていただきます。ご理解とご協力をお願いいたします。

## 校内書き初め展

「書き初め」が各教室の廊下に掲示されました。各学年の受賞者を紹介します。1年生は、『不言実行』。2年生は、『感謝する心』。3年生は、『旅立ちの春』が課題でした。受賞者のみなさん、おめでとうございます。



## 校内授業研究会

1月30日（火）に校内授業研究会が行われました。この研究会は、先生方の授業力向上を目的として定期的に行われています。慶應義塾大学教職課程センター教授（副所長）の藤本先生をお招きして、午前中には各先生方の通常の授業の様子を見ていただきました。5校時目には木内先生（I組保健体育）と花田先生（2年社会科）による公開授業を職員全員で参観しました。その後は、研究会を行い、藤本先生のアドバイスをいただきました。今後も生徒にとってわかりやすい授業を追求し、全職員で研究を進めてまいります。

